

# かつしか区議会 公明党 ニュース

平成28年  
冬号

## 平成28年 第4回区議会定例会 が開催されました。

平成28年第4回区議会定例会において、公明党葛飾区議団を代表して

**くぼ洋子 議員** **山本ひろみ 議員** が一般質問を行いました。質疑の内容は、次の通りです。(要旨)

### くぼ議員



#### 1 新小岩地域 まちづくりについて

**問1** 西井堀せせらぎパークは、自転車駐車場と公園の全域にわたって改修すべきと思うがいかがか。

**都市施設担当部長** | 西井堀せせらぎパークは開園から20年以上が経過し老朽化が進んでいる。また、併設している自転車駐車場もその形状などにより、他の施設に比べて利用率が低い。今後は、新小岩駅周辺の街づくりの進捗に合わせ、西井堀せせらぎパークの全体的な改修を考えており、自転車駐車場を含めて、地域の意見や利用状況を把握しながら検討を進めていく。



**問2** ホームドア設置の流れをこの新小岩から区内全域に広げていけるよう鉄道事業者に働きかけていくべきと思うが、区の見解を問う。

**区長** | ホームドアは、高齢者や障害者をはじめ全ての駅利用者がホームから転落するのを防ぐ設備として効果が高い反面、多額な設置費用が課題で設置が進んでいない。新小岩駅においては南北自由通路の工事を契機に区がJR東日本に働きかけ、快速線ホームドア設置に至った。先日JR東日本を訪れ、緩行線ホームへの設置も要請した。今後も、ホームドア設置の流れを区内の他の駅にも広げていくよう努める。

#### 2 新小岩北地域の複合施設整備について

**問** 整備計画の中に整備スケジュールが示されているが、まずは内容の検討に時間をかけ、さまざまな合意形成を図りながら進めていくべきと思うがいかがか。

**特命担当部長** | 新小岩北地域の複合施設整備は、交流・健康・子育て支援の3つの機能の効果的な連携を目指して検討を進めている。「(仮称)新小岩北地域公共施設整備計画」を策定し、各施設の利用者・地域の方への説明会を開催した。その際にいただいた意見を参考に、さらなるサービスの充実・使いやすい施設、新たな交流・健康や子育てに配慮した施設として検討を進め整備していく。

#### 3 ユニバーサルデザインの推進について

**問** 将来を見据えて、葛飾区としてもユニバーサルデザイン条例の制定に着手すべきと考えるが、区の見解を問う。

**政策経営部長** | 本区においては、他自治体の条例に規定されているユニバーサルデザインの基本理念・基本的事項を「葛飾区ユニバーサルデザイン推進指針」として定めている。本指針に基づき、学校教育における福祉ボランティア出前講座を活用した体験授業の実施や、ユニバーサルスポーツの普及・啓発、ユニバーサルデザインに関する職員研修、カラーユニバーサルデザインの推進、歩道の段差解消、視覚障害者誘導ブロックの設置など、ソフト・ハード両面でユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策を進めている。今後も「心ふれあう住みよいまち かつしか」の実現を目指し、各種の事業を進めていくとともに、条例制定の効果も検討する。



### 山本議員



#### 1 子育て支援策について

**問1** 待機児童数の割合が1.11倍と23区の中で一番低かったが、106名の待機児童が生じた。内訳でみると3歳児以降の待機児童は0だった。待機児童を減らすためには、既存事業の活用や3歳児以降の枠を弾力的に運用するなど、工夫すべきと思うがいかがか。

**区長** | 保育需要の高まりに対応するためには施設整備に加え、入所できなかった児童を臨時的に預かる弾力的な運用も有効な方法のひとつであると考えている。国においては入所が決まるまでの間、待機児童を緊急的に預かる事業を検討しているが、本区においても新規開設園で未使用となる傾向のある4・5歳児室の活用や、一時保育室の一部を活用するなど、緊急的な預かりについて検討していく。



**問2** 医療的ケアが必要な子どもが増加しているように見受けられる。また、医療の進歩により多胎児が生まれるケースも増えている。このような子どもが保育園に入園する際、総合的な支援が必要と思うがいかがか。

**子育て支援部長** | 国が平成29年度予算要求の中で、「医療的ケア児保育支援モデル事業」を創設し、3年間モデル事業を実施したうえで、受け入れ体制のあり方を検討するとしている。こうした国の動向等も注視し、多胎児の対応も視野に入れ、配慮が必要な児童の受入れの基準や体制の整備など、総合的な支援について検討していく。

**問3** 女性の活躍する社会を構築するには、病児保育・病後児保育の支援は欠かせない。しかし亀有地域には病児保育を実施しているところが無い。是非ともこの地域に病児保育を推進してはどうか。

**子育て支援部長** | 亀有地域は、保育需要も高く、病児保育の需要も相当数見込めるので、前向きに検討する。また足立区とも近い地域であり、特に亀有駅は足立区民の利用者も多数いるので、足立区との共同による事業実施も視野に入れながら取組を進める。

#### 2 がん教育・がん検診率の向上について

**問1** がん教育を実施する際、子どもたちに配慮すべき点や評価できる点を把握できるようなアンケート調査を実施して、今後続けていくがん教育に生かしてみたいはどうか。

**学校教育担当部長** | がん教育を実施していく上で、子どもたちにアンケートを実施することは有効であると考えている。アンケートの実施により、子どもたちに配慮すべき点が明確になり、がんに対する意識がどのように変わったかを捉えることができる。また「がん教育」の指導の改善に役立てることができる。来年度の実施に向け検討する。

**問2** がん体験者の話を身近に聞くことで、がん検診の重要性を再確認し、がんを克服した方の前向きに生きる姿に触発されると聞く。区民向けのがん克服体験者の講演を開催してはどうか。

**区長** | がん体験者の話を聞くことは、がん検診受診の重要性の認識を深め、がん患者本人や家族に対しては、がん治療や療養生活の情報を得られ、がん克服への勇気や希望を与える力になるなど有益と考える。今後、講演会開催に向け、講師や講演内容等について検討したい。